

IT活用の経営術 (第4回)

IT格差を救う! SaaSってなに?

(有)アドラック 代表取締役
 OCPビジネスプロデューサー **宇佐美康司**

雇用格差、教育格差、地域格差などいろいろな格差が問題になっていますが、IT分野も例外でなく本来大型コンピュータからPC(パーソナルコンピュータ)に移行することで大企業と中小企業のIT経営格差がなくなるはずだったのに、現在ではサーバーの導入を考えられる水準の企業と、そうでない企業のIT格差はますます拡大しています。そこで今回は、中小企業がIT活用に再チャレンジするための最新サービスであるSaaS(Software as a Service)についてお話しします。

(1) 最初の質問、なぜIT格差が広がってしまったの?

中小企業にIT活用が根付かなかった理由として以下の3つがあげられます。

- 1) IT投資に関わる初期投資を負担できない
- 2) IT知識のある社員を確保できない
- 3) 中小企業向けのITサービスが少ない

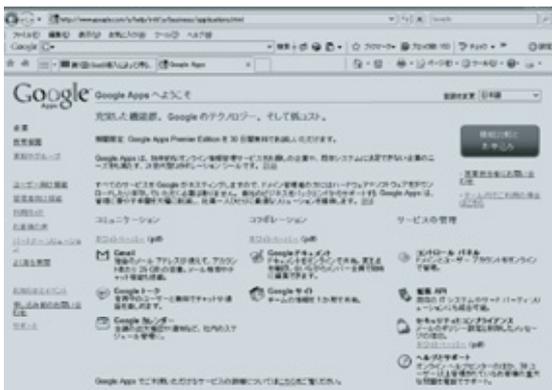
SaaSはこれらIT活用を難しくしている要因を解消すると期待されています。

(2) ところで、SaaS(Software as a Service)ってなに?

SaaSとはソフトウェアの機能がWeb上でサービス提供され、ユーザが必要な期間に必要な機能だけを利用できるビジネスモデルです。つまりWebブラウザが動く環境があれば(それがマイクロソフトのWindowsでなくても)インターネットを利用して、いつでも、社内でも社外でも、携帯電話からでもサービスやアプリケーションを利用できるのです。

(3) SaaS利用のメリットはコストダウンなの?

コストダウンや管理工数の削減はSaaS利用の大きなメリットのひとつです。ハードウェアの調達管理、ソフトウェアのライセンス費やメンテナンス費などを払うことなく月額利用料だけで済みます。また中小企業においては、自社内にシステムを持つとしてもITの知識をもった人材が不足しがちですが、SaaSならサービス企業にまかせることができるのです。もちろんソフトウェアのバージョンアップや買い替えなどの運用コストも不要となります。



Google Apps (<http://www.google.com/a/help/intl/ja/index.html>)

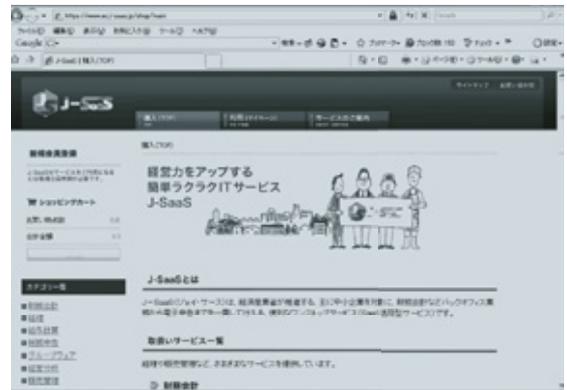
実はSaaS最大のメリットは、導入に際しての敷居が低いこと、つまりすぐに利用が開始できる点なのです。販売戦略や生産管理以外はアウトソーシングできるのでシステム構築期間を大幅に短縮できます。しかもどのくらい使うかわからないシステムの初期コストを抑えられます。システムは企業戦略に合わせて変更していけばよいのです。

(4) SaaSをもっと知りたい 無料でSaaSを試したい

たとえば、検索サイトのグーグルは検索以外にも多くのサービスを提供しています。そのひとつにGoogle Appsと呼ばれるサービスがあります。Google Appsとは業務上必要なさまざまな機能をまとめたものです。

Google Appsでは無料で50アカウントまでのサービスを利用することができます。つまりスタッフ数が50人以下の会社や支店営業所などでは実質無料で使えます。またGoogleカレンダーを用いて会議の出欠確認や通知など社内のスケジュール管理を行なうことも可能です。

前回「IT経営のすすめ」で導入をお勧めした財務会計ソフトや、給与、販売、グループウェアなど多くのサービスが2009年3月31日から経済産業省推進のJ-SaaSで提供されています。



J-SaaS (<https://www.ec.j-saas.jp/shop/main>)

経済産業省が推進する、主に中小企業を対象に、財務会計などバックオフィス業務から電子申告までを一貫して行えるSaaS活用型サービス

ネット社会の到来は中小企業にとって大きなビジネスチャンスであることに異存はないと思います。一度や二度のIT導入で投げ出さず、ネット社会はまだ始まったばかりなのです。そして中小企業向けのITサービスはこれからますます増加していきます。まずは今回紹介したホームページを見て下さい。そしてあなたに最適なSaaSを活用してください。

IT活用もChallenge!そしてYes, we can!をスローガンに頑張りましょう!